

★国際交流通信★

Feb 5th, 2020 国際教育部 Vol.3

★Keep going, Seirin!!★

星林高校では、昨年も異文化理解に関する様々な活動が行われました。皆さんの積極的な参加のおかげで、訪問団との交流も深まりました。皆さんにとっても外の世界を知るきっかけになったのではないのでしょうか。また、フォーラムなどでは、同年代の学生の発表を通じて、環境、観光、防災等の課題を共有することで、知的な刺激も得たことと思います。今年度はまだまだいろんなイベントがあるので、奮ってチャレンジしてみてください。

国際交流活動の様子は、本校 HP にも掲載しています。(トップページの国際交流をクリック)こちらでも是非覗いてください。2019年、印象に残った活動はどれでしたか？

和歌山県高校生 国際教育セミナー

1月11日(土)に県下の高校生が集まるセミナーが那賀高校において開催されました。午前中は星林・耐久・橋本・那賀の各高校による発表があり、留学生との交流もありました。星林からは、2年G組の小杉向日葵さんが「フードロス」について発表しました。午後には、JICA 青年海外協力隊としてキルギスに派遣されていた方の講演会や、SDGsのワークショップが行われました。

参加生徒から感想を抜粋して紹介します。OSDGsに関しては、「国連が決めた」というイメージが大きく、一般の市民は関わりにくいのかなと思っていましたが、その内容をよく見てみると、誰でも実践できること多く、地球上の全ての人で解決していけると知り、驚きました。(中略)これを機会に自分で行動していこうと思いました。



(各校の生徒・留学生と集合写真)

【ポートフォリオと国際理解活動】

“ポートフォリオ”と聞いて、星林高校の皆さんは大いに反応するのではないのでしょうか。詳しい説明は割愛しますが、高校での活動成果や学びを積み上げ、それらを電子ファイルにまとめたものを“e-ポートフォリオ”といいます。ポートフォリオを入試に取り入れる大学が少しずつ出てきており、現2年生から受験が始まる新大学入試テストでは、e-ポートフォリオの提出が求められる可能性があります。

このポートフォリオ対策として、国際教育部での取り組みで活かせるものをいくつか紹介します。

①和歌山県主催の大会に参加する

いくつかの国際交流に関する大会がありますが、毎年7月頃に「アジア・オセアニア高校生フォーラム」という大きな大会が開催されます。参加国数や日程の規模が大きく、とても参加しがいのある大会です。例年、登壇して英語で発表する星林生もいます。

②高校生セミナーに参加する

また、高校生が集まって講演を聴いたり、意見交換したりする高校生国際教育セミナーというものがあります。今年度はすべて終了しました。(左に県セミナーの記事あり)

③本校の国際交流活動に参加する

本校では多くの国との交流が経験できます。来年度は、現在のところ、中国・韓国から訪問団がやって来る予定です。その来日する高校生をホストファミリーとして迎えることは貴重な体験です。また、海外に出てホームステイをすることも大きな経験となります。ぜひ積極的に参加してください。

その他、国際教育部ではいくつかの活動をサポートしています。もちろん、これらの活動の本質は“**社会で必要な力を伸ばすために行う**”というところにあります。そのことを理解した上で、力を身につけていってくださいね。

今後の予定

- ☆2月12日(水)
国際交流科第二外国語体験ワークショップ(本選)
- ☆2月15日(土)
話してみよう韓国語第18回大阪大会
- ☆3月4日(水)~10日(火)
国際交流科1年生カナダ研修旅行
- ☆3月22日(日)中国語検定試験
申込み締め切り2月15日(土)
(ネットなら25日まで)